

作業療法を受けられる患者様へ

日本作業療法士協会 事例レジストリ研究（身体障害領域）

研究の目的

全国の施設より作業療法実践と結果に関するデータを集め、作業療法の効果について検証します。

研究の方法

担当作業療法士が、患者様や、作業療法の実施内容（疾患名、発症日、検査結果、練習時間や内容など）について、匿名化された状態でインターネット上のデータベースに入力します。全国から5000例（予定）の事例を集積して分析します。研究期間は2026年までを想定していますが、予定事例数未満の場合には延長することがございます。

研究の負担やリスク

通常の作業療法の範囲内でデータの収集を行うため、研究のために新たに負担が生じるということはありません。データも匿名化してデータベースへ登録するため、個人情報流出するリスクはございません。

研究参加と取り止め

研究参加は任意で、参加されなくても、また参加を取り止めても、一切不利益を受けることはありません。意識障害や認知障害などのために同意を得ることが困難な患者様については自動的に研究に組み込みますが、後から撤回することが可能ですので、施設担当者にお申し出ください。

研究組織

研究組織：日本作業療法士協会 学術部 〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル7階

研究代表者：友利幸之介 tomoriks@stf.teu.ac.jp 03-6424-2150

問い合わせ・連絡先

施設名

福岡和白病院

担当者

リハビリテーション科 作業療法士 甲斐 慎介

お問い合わせ：092-608-001



研究に関する説明書